

愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)公開講演会

「沸騰する中国の自動車産業:その現状と課題」

許 敏氏(上海交通大学自動車研究院院長、学長補佐)

【講師紹介】

許 敏 氏 (XU Min)

中国安徽省生まれ。上海交通大学自動車研究院院長、学長補佐。SAE フェロー。広島大学より工学博士号を取得。その後、渡米し、カーネギーメロン大学機械工学系ポスドクター、同研究員を歴任。GM、フォード、ビステオンなど米国大手自動車企業で技術開発責任者を務めた後、2003年に中国民族系自動車メーカー大手の奇瑞自動車で副社長兼研究開発院院長に迎えられた。中国の自動車産業界における欧米留学経験者「海亀派」の代表格として技術開発の面で奇瑞の大躍進に大きく貢献した。同時に、自主開発や技術戦略、産業政策など自動車産業の諸課題についてオピニオン・リーダーとして内外の注目を集めている。

【概要】

上海国際自動車モーターショーが終わったばかりの中国。入場者数や出展社数が史上最高記録を次から次へと更新した。アメリカを抜いて世界一の自動車大国として中国は、今年年間販売台数 2000 万台という前人未踏の記録を達成する見通しである。新生 GM や VW、日産など世界の手自動車メーカーはいずれも中国での販売台数が本国を逆転する大躍進ぶりである。

一方、今年からスタートする「第十二次五ヵ年計画」の中では、自動車大国から自動車強国へと次なる発展の目標も打ち出された。その過程において、外国自動車メーカーにも中国における「自主ブランド」を認められ、従来の外資ブランド対民族系の自主ブランドといった従来の競争の構図が大きく変化するとともに、外国自動車メーカーの対中技術戦略も大きな転換を迫られている。今回の ICCS 公開講演会では、米中の自動車産業に精通するエキスパートであり、中国「海亀派」の風雲児である許敏院長を迎え、沸騰する中国自動車産業の諸課題と外国自動車メーカーの対中技術戦略などについて深く解説をしていただきたい。

【日 時】 2011年5月16日(月) 15:30～17:00

【会 場】 愛知大学車道校舎 13階第3会議室

(名古屋市東区筒井2丁目10-31 地下鉄桜通線車道駅下車徒歩2分)

開会の挨拶: 高橋五郎氏 (愛知大学国際中国学研究センター所長)

司会兼コメンテーター: 李 春利氏 (愛知大学経済学部教授)

使用言語: 日本語、一般公開、参加無料、申込不要

【問い合わせ先】 愛知大学国際中国学研究センター(ICCS) Tel: (0561)36-5637

Email: coe-iccs@moon.aichi-u.ac.jp アクセスマップ <http://www.aichi-u.ac.jp/profile/07.html>